



小中一貫教育と学校運営協議会の早期導入を

志政あやせ 古市 正

●小中一貫教育について

Q 小中一貫教育の導入で、期待される成果は。

A 義務教育の9年間が連続して行われることで、小学校から中学校に進学する際に、不登校や問題行動などに

つながると言われる中1ギャップの緩和や、教職員の指導方法に対する改善意欲の向上などが期待されている。

Q 綾瀬市型小中一貫教育モデルの試行を、1年前倒して、平成31年度に行えないか。

A 現状の小・中学校の連携をさらに図りながら、各校が全校実施に向けて準備をしていくことが重要であると考

えているため、現段階では教育振興基本計画のとおり進めたいと考えている。

●学校運営協議会(コミュニティスクール)について

Q コミュニティスクールの導入で、期待される成果は。

A 保護者や地域住民の理解と協力を得た学校運営の実現、教育への積極的な参加に加え、子どもたちの学び・体験が充実すると言われている。



寺尾中県営住宅前にある比留川遊歩道の整備状況は

二見 昇

●寺尾中県営住宅のそばの比留川遊歩道の設置について

Q 平成28年12月定例会では、当該区間の整備に向け、

県などと継続的に協議を進め早期完成を目指したいと市長は述べたが、現在の進捗は。

A 駐輪場などの支障物件の扱いを県などと協議してきたが、移設が困難な状況であり、事業が停滞している。

Q 歩行者の安全対策を、今後どう考えるか。

A 遊歩道設置に向け、県と協議を継続し、周辺道路を含めた歩道ネットワークの整備で、歩行空間を確保したい。

●地方公務員法及び地方自治法の一部改正について

Q 一般職非常勤職員は、

フルタイムやパートタイムの会計年度任用職員に移行されるが、職員の給料水準や報酬はどう定められているか。

A 総務省のマニュアルでフルタイム職員は、類似する職務に従事する常勤職員の給料を基礎とし、パートタイム職員は、同様の職務に従事するフルタイム職員の給与決定の考え方との均衡などに留意し、決定すべきとされている。

Q 会計年度任用職員の休暇制度は。

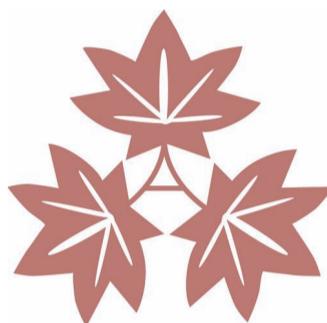
A 総務省のマニュアルでフルタイムやパートタイムの区別はなく、労働基準法の規定や国の非常勤職員との均衡を踏まえ、必要な制度を整備すべきとされている。

綾瀬市版のコミュニティスクール案の試行を、平成33年度に行う考えは。

志政あやせ 齊藤 慶吾

Q 現段階では、教育振興基本計画のとおり進めたいと考えているが、本市は、学校と

地域が良好な関係にあり、現在のPTAや地域の仕組みを生かすことで、計画より早く事業が進められると考える。



市の木「やまもみじ」



学校給食費を公会計に組み入れて透明性を図らないか

志政あやせ 齊藤 慶吾

●学校給食の公会計化について

Q 現在の学校給食費の納付方法はどうか。

A 4つの金融機関での口座振替と、市内のJ.A.がみ各支店での現金納付を行っている。平成30年度からは、新たに3つの金融機関でも納付できるように調整している。

Q 学校給食費を一般会計に組み入れないか。

A 現在の給食費の徴収方法や徴収率を維持するために、現時点で、一般会計に組み入れることは得策ではないと考えている。

●学校の服装や身だしなみについて

Q 服装や身だしなみなど、各学校規則の差異に対す

る本市の認識は。A 各学校が定める校則は、法令による規定はないが、制定する権限が校長にあるとされている。そのため、小・中学校では、児童生徒指導担当者などで情報交換を行い、学校による差異が小さくなるよう、見直しを繰り返しながら現在に至っている。

Q 小学校に制服を導入する考えはないか。

A 制服の導入により、風紀の乱れがなくなる一方で、成長期のため買い替えが必要となり、制服代がかかるなどの意見がある。県内の公立小学校では導入していない学校が多いと思われ、本市でも、現在導入する考えはない。



1月21日、「市駅伝競走大会」が開催されました <IIMURO GLASS 綾瀬市民スポーツセンターにて>



外国籍市民の活躍を所信表明に掲げた市長の想いは

志政あやせ 橋川 佳彦

●外国籍市民の活躍促進について

Q 市長はどのような想いで外国籍市民の活躍を所信表明に掲げたのか。

A 外国籍市民の活躍は、単純な労働者との認識ではなく、その多様性がもたらすイノベーション創出の担い手として期待する。外国籍市民が多く生活する本市は未来への大きなポテンシャルを秘めていると確信しており、さらなる活躍の促進を考えている。

Q 地域を支える貴重な人材として外国籍市民の活躍が重要な課題であると考えているが、今後の施策展開は。

A 外国籍市民が自立し活躍するため、言葉の壁を取り除く支援に重点を置くとともに、外国人技能実習制度を活用した人材の受け入れや特定の海外都市と戦略的なパートナーシップが構築できるような積極的に取り組む。●高齢者の買い物弱者対策について

Q 増加が予測される高齢者の買い物弱者に対する対策と、今後の展開は。

A 高齢者が、買い物で人と交流することなどにより精神的な満足感を得られる仕組みをつくるため、店への交通手段の提供や移動販売などのサービスが必要であると考えている。今後もこれらのサービスを総合的に展開する事業手法を研究していきたい。

「あやせ市議会だより」は、直接お届けしています
 あやせ市議会だよりは、市シルバー人材センターの会員が配布しています。
 お手元に届かない場合は、同センター(☎0467-70-3088)へご連絡ください。
 次号は、平成30年5月15日発行です。

詳しい内容は会議録・HPで
 ホームページ
 市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。詳しくは、市役所内情報公開コーナー、市立図書館、市議会に備えてある会議録をご覧ください。また、インターネットでも、会議録の閲覧や検索ができます。
 綾瀬市議会 検索
 なお、12月定例会の会議録は、2月下旬に閲覧できる予定です。